

「いっしょに踊らんか？」と島のお盆に年配の男性から声をかけられた男子高校生。その引込み思案な一人の高校生が自分も後継者になろうと思って始めた継承活動は周囲の方々に支えられ、徐々に仲間が増えていきました。

今では後輩たちも活躍してくれており、白石踊の名前や継承活動をしている高校生の存在は、文部科学大臣賞をいただいたり高校英語の教科書に載ったり、全国的にも知られるようになりました。

第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ 審査員特別賞

第4回高校生ボランティア・アワード 特別賞「マイナビ賞」

についても本書で出場までの経緯などが紹介されています。

「本書では、白石踊と若者たちの出会いによって起きた奇跡の物語を紹介します」（はじめから引用）と著者が述べておられますが、白石踊に出会うことで一歩を踏み出し、自己肯定感を高めたり将来の目標が持てたりと高校生たちが力強く歩み始めることも大きな奇跡です。

地域の方々の支えや福武教育文化振興財団の助成があったおかげです。

この「島の宝を守る」に描かれた白石踊を受け継ごうとする若者の活動とそれを温かく見守って協力してくださる地元の方々のストーリーは、「第10回子どものための感動ノンフィクション大賞」で優良作品に選ばれたものに加筆修正をして吉備人出版から2025年5月に書籍化されました。

なお、この出版記念講演会開催にあたっては福武財団からの助成をいただきました。ありがとうございます。